

# エコセメント 通信

## 「東京たまエコセメント」製品がさらに使用されていきます

循環組合では、本年3月末より道路側溝用のU形ブロックなどのコンクリート製品に「東京たまエコセメント」を100%使用していることを証明する認証制度をスタートさせました。この制度に基づいて、11月までに都内などの17事業者21事業所を認証しています。

これは、多摩地域の市町村の公共工事などにおいて使用される際、エコセメント製品であることをわかりやすくしたものです。

この仕組みにより、今後「東京たまエコセメント」製品の使用がさらに促進されることが期待されます。



認証された製品にはマークを刻印します

緑石として使われている東京たまエコセメント製品(小平・村山・大和衛生組合)

## 日の出だより 日の出町 No.36

### 歴史の舞台に触れてみませんか? 「日の出山荘 中曽根康弘・ロナルドレーガン 日米首脳会談記念館」

昭和58年11月11日、当時の中曽根康弘内閣総理大臣が自ら所有する日の出山荘にロナルドレーガン米大統領を招き、日米首脳会談が行われました。当時、二人の愛称から「ロン・ヤス会談」と呼ばれ全国的に注目を集めた会談から24年、町に寄贈されていた山荘は、平成19年11月11日に「日の出山荘 中曽根康弘・ロナルドレーガン日米首脳会談記念館」としてオープンしました。



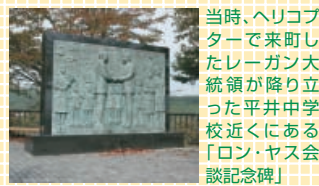
庭戸裏を囲みながら、中曽根首相自らが抹茶を点てて、レーガン大統領夫妻をもてなした青雲堂

当時のまま保存されている藁葺屋根の「青雲堂」や茶室「天心亭」、2階建ての書院には会談時のパネルや資料をはじめ、中曽根元首相の愛用品などを展示。会談の歴史的な意義と成果を長く後世に伝えます。



会談当時のパネルや中曽根元首相の愛用品を展示する書院

また庭園にはロシア・ゴルバチョフ元大統領、韓国・全斗煥元大統領など世界各国の要人が山荘を訪れた際の記念植樹などもあります。



当時、ヘリコプターで来町したレーガン大統領が降り立った平井中学校近くの「ロン・ヤス会談記念碑」

- 開館時間/10時～15時30分(受付は15時まで)
- 休館日/月・火定休(祝日の場合は翌日または翌々日)、年末年始
- 入館料/一般200円、高校生・65歳以上100円、中学生以下無料
- 住 所/東京都西多摩郡日の出町大久野5270番地
- 電 話/042-597-7323
- 駐車場/約15台(大型車Pなし)

## 循環組合の動き

10月 3日(水) 平成19年第4回正副管理者会議	11月 29日(木) 第18回循環組合技術委員会
10月 11日(木) 平成19年第3回事務連絡協議会	12月 17日(月) 第22回環境保全調査委員会
10月 18日(木) 平成19年第4回理事会	12月 18日(火) 第22自治会二ツ塚処分場対策委員会
10月 26日(金) 平成19年第2回議会定例会	12月 19日(水) 第3自治会谷戸沢処分場監視委員会
11月 26日(月) 平成19年第5回理事会	12月 20日(木) 環境データ公表(上半期分)

【管理者および副管理者】  
組合の責任者として管理者1名および副管理者3名を置いています。

【技術委員会】  
循環組合の業務全般にわたる技術的検討、調査・助言などを行うための組織。

【二ツ塚処分場対策委員会・谷戸沢処分場監視委員会】  
地元自治会のみなさんによる組織。処分場の埋立作業や環境調査等に立ち会っていただくほか、調査結果や安全対策等について、継続的に意見交換を実施しています。



ホームページをご覧ください <http://www.tama-junkankumiai.com>

循環組合では、処分場の敷地内や周辺の土壌、水質など環境調査の結果をホームページで公表しています。ぜひアクセスしてみてください。

発行・問い合わせ先  
TEL: 042-385-5947 FAX: 042-384-8449

「たまエコニュース」の内容及びごみ処理に関するお考えなど、みなさまのご意見を、お手紙、FAX、電子メールでお聞かせください。  
〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内 東京たま広域資源循環組合「たまエコニュース」係  
[メールアドレス] sjkumiai@tama-junkankumiai.com



## 多摩400万人のごみ情報紙

# たまエコニュース

3月号 MAR. VOL. 44  
6月号 JUN. DEC. 2007  
9月号 SEP.  
12月号 DEC.  
年4回・最終日曜日発行  
※掲載内容と時期により、発行日が前後する場合があります。

発行: 東京たま広域資源循環組合  
【事務局】 〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内  
TEL: 042-385-5947 FAX: 042-384-8449

循環組合組織団体  
八王子市 立川市 武蔵野市 三鷹市 青梅市 府中市 昭島市 調布市 町田市 小金井市 小平市 日野市 東村山市 国分寺市 国立市 福生市 狛江市 東大和市 清瀬市 東久留米市 武蔵村山市 多摩市 稲城市 羽村市 西東京市 瑞穂町  
循環組合は組織団体からの負担金で運営されています

「循環組合」とは  
二ツ塚処分場・谷戸沢処分場(日の出町)を管理・運営している特別地方公共団体で、日の出町のみなさまの協力を得ながら、多摩地域25市1町の約400万人の可燃ごみの焼却灰をエコセメントとしてリサイクルし、資源として活用。また、不燃ごみの埋立をしています。みなさまと共にごみ問題の解決に取り組んでいます。

## 全国的に見ても高い多摩地域のリサイクル率が エコセメント事業により、さらに 35.3%と大幅に上昇しました!

エコセメント化施設の  
本格稼働により  
高い数字を達成!!



### エコセメントは物質循環を実現する新しいリサイクルの形です

循環組合では、可燃ごみの焼却灰を主原料としてセメントを作る「エコセメント事業」に取り組んでいます。

これまで二ツ塚処分場に埋め立てられるごみの約8割は可燃ごみの焼却灰でした。それをエコセメントの原料として再利用することで、処分場の使用期間を大幅に延長することができます。また、焼却灰がエコセメントとして道路や建物に生まれ変わることによって、新たな物質循環のモデルを構築することができるのです。

昨年7月から「東京たまエコセメント化施設」が本格稼働を開始しました。施設では万全な安全対策のもと、毎月平均約7,000トンの焼却灰を処理し、約10,000トンのエコセメントを製造しています。

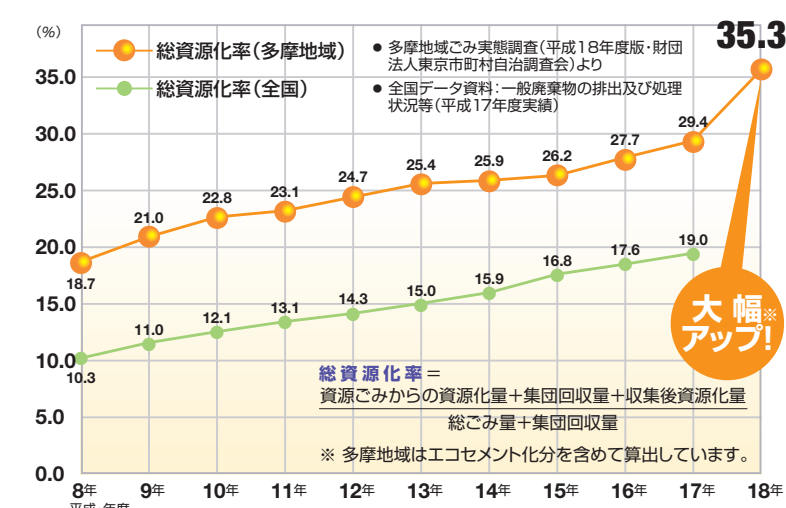
### ごみ問題の意識が高い多摩地域でエコセメントが活躍しています

可燃ごみの焼却灰がエコセメントの原料として再資源化されることで、多摩地域全体のリサイクル率は、昨年の29.4%から35.3%に、また循環組合組織団体25市1町では35.6%に上昇しました。

環境先進地域である多摩地域はごみ問題への意識が高く、もともと全国トップクラスのリサイクル率を誇っていましたが、エコセメント事業によって、それをさらに大幅に押し上げることができたのです。

現在、生産されたエコセメントは多摩地域の各自治体による公共工事等で利用されています。エコセメントは道路の舗装材や緑石、側溝など、さまざまなコンクリート製品へと加工され、私たちが暮らす街の中で広く活躍しています。

### 多摩地域のリサイクル率の推移



昨年7月より本格稼働しているエコセメント化施設

## 今後も循環型社会の実現に向けて努めてまいります

平成18年度の多摩地域のリサイクル率は、全国トップクラスの約35%にもなりましたが、また、処分場に埋め立てられたごみの総量は、エコセメント化施設の稼働もあり、前年度と比べて約75%減という大幅な削減を行うことができました。

このことは、多摩地域が環境先進地域としての地位をゆるぎないものとしたことになり、これを実現できたのは、皆様のごみの減量に対する高い意識とご努力の賜物だといえます。

昭和59年4月に谷戸沢廃棄物広域処分場を開場して以来、四半世紀が経とうとしています。その間、平成10年1月には二ツ塚廃棄物広域処分場の埋立が開始され、さらに、平成18年7月からエコセメント化施設が本格稼働いたしました。

これらの事業が進められるのは、三多摩市民が困った時に、お互いに助け合い協調するという「三多摩は一つなりの精神」に基づく高い見地から日の出町の皆様に処分場等を受け入れていただいたからこそです。

改めて、ここに日の出町をはじめ、町議会、地元自治会など町民の皆様のご理解と勇気ある決断に深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

今後とも循環組合としては、処分場等の安全な管理運営に万全を期していくことはもちろんのこと、ごみの減量や資源化など循環型社会の実現に努めてまいります。

今年も余すところわずかとなりましたが、皆様にとりまして来年がよい年でありますよう心より祈念しております。

● 石川良一 管理者 (稲城市長)



石川良一 管理者 (稲城市長)



# 環境に配慮した処分場及びエコセメント化施設の管理運営のために 定期的に環境調査を実施しています

## 環境調査

安全管理を徹底しており、  
周辺環境への影響はありません

循環組合では谷戸沢・二ツ塚処分場の水質等の調査を定期的に行っています。調査するのは、①ごみの層を通った水(浸出水)、②浸出水を処理した後に下水道に放流している水、③埋立地外の雨水を集め、一時的に貯めている防災調整池の水、④埋立地の下の地下水、⑤処分場内と場外の井戸水などです。

調査は処分場のある日の出町の方々の立ち会いのもと実施しています。結果はいずれも基準値を大きく下回る数値で、処分場が環境に影響を与えていないことが確認されています。

また、昨年7月に「東京たまエコセメント化施設」が本格稼働したことにもない、エコセメントの製造工程で発生する排出ガスや下水道に放流する水について定期調査を実施しています。

循環組合では法の排出基準よりも厳しい独自の規制値を設定しています。それぞれ規制値を大きく下回る結果で、エコセメント化施設による環境への影響がないことが確認されました。

これらの結果は、処分場及びエコセメント化施設が安全管理を徹底して運営していることを証明するものです。今後も環境保全に万全の配慮をして管理運営に努めていきます。



二ツ塚処分場での水質調査



谷戸沢処分場での浸出水の水質調査



エコセメント化施設における排出ガス調査

### 処分場内上流側及び下流側井戸の重金属等調査結果 (平成19年4月～6月期)

調査箇所 調査項目	谷戸沢処分場		二ツ塚処分場		基準値
	上流	下流	上流	下流	
カドミウム	ND	ND	ND	ND	0.01
鉛	ND	ND	ND	ND	0.01
ひ素	0.002	ND	0.002	0.001	0.01
総水銀	ND	ND	ND	ND	0.0005
トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	0.03
テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	0.01

※ 単位はmg/l  
※ 「ND」(検出されない)とは、数値をはかることができる最低のレベルよりも低い値であることを示しています。  
※ 表中の数値は、検出濃度12%に換算した値  
※ 法規制基準値のうち、硫酸根及び塩化水素の値は、法に規定する単位ppm単位に換算したものである

### エコセメント化施設排出ガス調査結果 (平成19年4月～6月)

調査項目 (単位)	調査結果		自己 規制値	法規制基準値	
	焼成炉	乾燥機等		焼成炉	乾燥機等
窒素酸化物 (ppm)	17~19	9~36	50	250	414
硫黄酸化物 (ppm)	ND	ND	10	2158	9635
塩化水素 (ppm)	ND~4	ND	10	430	—
ばいじん (g/m <sup>3</sup> )	0.004~0.007	ND~0.003	0.01	0.04	0.35
水銀 (mg/m <sup>3</sup> )	ND	0.043	0.05	—	—
ダイオキシン類 (ng-TEQ/m <sup>3</sup> )	0.00044	0.00020	0.05	0.1	—

※ 「ND」(検出されない)とは、数値をはかることができる最低のレベルよりも低い値であることを示しています。  
※ 表中の数値は、検出濃度12%に換算した値  
※ 法規制基準値のうち、硫酸根及び塩化水素の値は、法に規定する単位ppm単位に換算したものである

環境調査結果は、  
ホームページで公表しています。  
ぜひご覧ください。  
<http://www.tama-junkankumiai.com>

## 自然回復

埋立が終了した谷戸沢処分場は  
適切な維持管理により、  
順調に自然が回復しています

谷戸沢処分場では、昭和59年から14年間にわたって多摩地域から出るごみの埋立が行われました。平成10年に埋立は終了しましたが、循環組合ではその後も引き続き適切な維持管理に取り組んでいます。

現在、埋立跡地は22ヘクタールの広大な草原などになっています。その中に清流復活事業として貯水池を設けたことで、水辺を好む鳥類やトンボ類が増加し、四季を通じてさまざまな植物が生い茂るようになりました。定期的実施する生態調査では、これまで約1,300種の昆虫類、約100種の鳥類が確認されており、順調に自然の回復が進んでいます。



晩秋の谷戸沢処分場

### 二ツ塚処分場内の緑地に植樹する ポット苗の育成に取り組んでいます

循環組合では、二ツ塚処分場内の約4割を緑地として残すなど、自然環境の保全に努めています。また、広葉樹も繁る多種混交林への転換を図るため、地元産のドングリなどの種子を散布するとともに、ポット苗で生長させた苗の補植を継続的に行っています。

今年度からは青梅市立第六小学校の協力のもと、ポット苗の育成に取り組んでいます。

平成20年度もポット苗育成に参加する小学校を募集しますので、循環組合にお問い合わせください。



11月30日、青梅市立第六小学校で、苗として使用するドングリの選別を行いました

## 「ごみ減量」アイデア

あなたも、ぜひ  
やってみましょう!

多摩地域住民のみさんから寄せられた  
アイデアを紹介します。

### ●傘袋を再利用しよう

雨がふったので傘をさしてスーパーに行きました。そこにビニールの傘袋がありました。だれも使っていない新しいふくろの箱がありました。わたしは、人が使ったふくろを使いました。みんなもなるべく他の人が使ったものを使えば、ごみも減ります。(立川市・8歳・小学生)

### ●野菜はできるだけ使いきる

我が家では、できるだけごみを出さないように、野菜などはなるべく使いきるよう心がけています。例えば、大根の皮は細かく切って味噌汁に、葉は汁物に使います。また、葉を細かく刻んで炒め、塩・こしょう・しょう油少々で味付けし、溶き卵を回し入れてかき混ぜ、これをご飯にかけて食べます。(日野市・67歳・主婦)

### ●3Rを意識して

[リデュース] 詰め替え用のものを買う。生ごみは電動生ごみ処理機で処理して、プランターの土に。買い物はマイバッグで。  
[リユース] 古くなった綿のシャツは、ボロ布として台所の油を拭くのに使う。  
[リサイクル] 食品などのトレイは、スーパーの回収ボックスに、紙・布・ビン・缶は、市の収集ボックスへ。(稲城市・49歳・主婦)

### ●古布を利用したエコぞうり

私はここ2、3年ほど前から、古布を活用したエコぞうりを作ったり、作り方を教えてあげています。自宅ではフローリングの床の部屋で履いています。最後には、牛乳パックに詰めて使い終わった食用油を染み込ませます。(多摩市・53歳・主婦)

### みんなでごみを減らそう! あなたのアイデア募集!!

ごみ減量や資源の活用について、アイデアや体験談をお寄せください。家庭や地域、学校や職場などでの取り組みや、実際にごみ減量に成功した事例を、「たまエコニュース」に掲載予定です。採用された方には記念品を差し上げます。お気軽にご応募ください。

【送り先】〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内  
東京たま広域資源循環組合「たまエコニュース」係  
TEL:042-385-5947 FAX:042-384-8449  
【メールアドレス】sjkumiai@tama-junkankumiai.com  
※ご応募の際は、活動の内容、あなた(グループの場合は代表者)の氏名、住所、年齢、職業、電話番号をご記入ください。取材させていただく場合があります。



## ごみ減量 レポート

### 「レジ袋削減の巻」

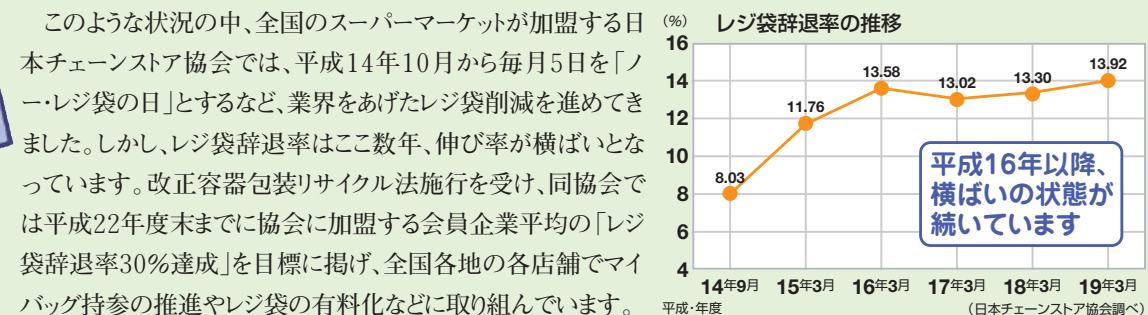
レジ袋の削減は、  
ごみの減量や環境保全  
を推進するための  
有効な対策として注目  
されています。今回は  
レジ袋削減の重要性や、  
そのための取り組みを  
取り上げます。



## レジ袋の削減はごみ減量につながる大きな一歩です

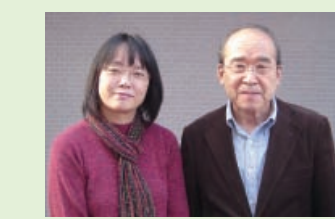
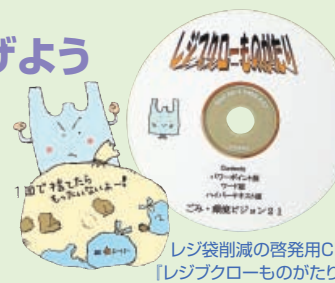
### 年間約300億枚も使われるレジ袋、ごみにせず減量を

現在、日本の家庭から出るごみの量は、年間約5,000万トン以上といわれており、その容積の約60%を占めるのがレジ袋やペットボトルなどの容器・包装となっています。レジ袋については、年間約300億枚も使用されています。ごみの大半を占める容器・包装を資源として魅了せることを目的に平成7年に容器包装リサイクル法が制定されています。その後、平成18年に法が改正され、レジ袋有料化の義務化は見送られましたが、事業者には容器包装の使用を合理化するための目標設定や具体的な取り組みが求められています。



### 三位一体でレジ袋辞退率を上げよう

民間でもレジ袋削減に関するさまざまな運動が行われています。NPO法人「ごみ・環境ビジョン21」は平成16年からレジ袋削減等をテーマとする交流会を開催、また、キャラクター「レジブクロ」による啓発用CDを作成、頒布し、環境教育活動にも力を入れています。「さまざまなマイバッグ運動を行ってきましたが、残念ながらレジ袋辞退率は3割が壁となっています。さらなる削減には、市民・自治体・企業が三位一体となり、レジ袋有料化を含めた取り組みを進めることが大切です」と理事の小野寺勲さん。また、同・江川美穂さんは「レジ袋削減は、いまずぐできるごみ減量の第一歩。各自がマイバッグを持参するとともに、レジ袋有料化を実施する店を応援して欲しいですね」と語っています。



●NPO法人 ごみ・環境ビジョン21  
<http://www.2u.biglobe.ne.jp/~GOMIKAN/>

## 1か月にわたりレジ袋有料化を実施

清瀬市 + 清瀬商工会 + マルエツ/オオサワ

清瀬市では毎年10月を「ノーレジ袋マイバッグ推進月間」と定め、清瀬商工会と協力して一昨年よりレジ袋有料化に取り組んできました。3年目となる本年は、実施期間をこれまでの10日間から1か月間に延長、商店街の店舗に加えスーパーマーケット・マルエツ清瀬中里店とオオサワ旭が丘店がレジ袋有料化に参加しました。「本年はスーパー2店の有料化実施により、活動が大きく前進しました。市民まつりでもレジ袋の無料配布をやめていますが、これも市民に定着したようです」と清瀬市役所の竹之内安博さん。地域が協力し合い継続的に取り組むことで市民の意識も高まっているようです。



レジ袋有料化に先駆けて、店頭ではエコバッグを配布しました。写真中央は福永副市長、左は(株)マルエツ常務執行役員総務本部長の緒方さん